

こだま通信

58号



【編集】 特定非営利活動法人こだま

〒690-0048 松江市西嫁島1-1-19

☎&FAX 0852-28-8162

・・・NPOこだまの15年を振り返る・・・

NPOの事業所として障がい者サービスを提供して15年が経過します。利用者と事業者が対等な立場で契約を結び、必要なサービスを受けられるという支援費制度の開始に合わせてのスタートでした。街の中に沢山の事業所ができ、利用者の方が選んでサービス利用ができるようになることへの一助になればとの思いからの事業開始でしたが・・・

社会福祉基礎構造改革が行われた・・・

今から20年程前の小泉政権時代の社会福祉基礎構造改革のおかげで、それまでは社会福祉法人しか福祉事業を展開することはできなかったのですが、法人格を持ち基準を満たしていれば福祉事業に参入できるようになりました。

社会福祉法人を設立するには土地や建物を所有していなければなりませんでしたが、事業を行おうとすれば高いハードルを超える必要がありました。しかし社会福祉基礎構造改革があつてからは、借地借家でも事業が行えるようになり、また定員も30名から20名に引き下げられ、より事業参入がしやすい状況にもなりました。

NPOこだまが発信しつづけていること・・・

そんな状況のもとでこだまは、利用者には選ばれる事業所を作ろう、と特定非営利活動法人で事業を行うことを決めました。利用する人も働く職員も周りの地域の人、みんなが幸せになるような事業展開を目指しています。

こだまで大切にしていることは、利用者や保護者の方の声によく耳を傾ける、ということです。利用者主体の活動を展開していくためには、利用者一人ひとりがどんな考えや希望を持ち、必要としているサービスは何か、ということが分からなくてはなりません。保護者の方からも最近の様子や困りごとが

無いかなど伺います。

こだまの建物は全て借家です。現在6つの建物を借りて運営していますが、事業の形態や規模に合わせて柔軟に対応ができています。街の中にある物件を求め、小さな人数で行うことを基本にしています。少人数で行うことで、一人ひとりがよく見えます。活動も小回りがきき、沢山の行事を行うことができます。天候によって活動の変更も容易です。私たちは、街の中にこうした小さな事業所が点在していくことを望んでいます。

街の中の身近な場所に、当たり前に通える場所があることが理想です。その中から、自分にふさわしい事業所を選んで欲しいのです。

NPOこだまの強み・・・

障がい福祉サービスはサービスを提供しないとお金が入ってこない仕組みです。管理職であっても、常にサービスの第一線で働いてもらっています。そうすることで、利用者の実態や職員の状況もよくわかり、現場主義の事業展開ができています。福祉サービスを担うのは若い職員たちです。

若い職員たちがやる気をだす環境を作っていくことが大切です。待遇面は勿論ですが、利用者への関わりのスキルを高めていくための研修や資格取得を積極的に応援し、常に新しい支援技術を身につけるように心がけてます。 【山田 久】

こだま成人を祝う会

1月19日（金曜日） 於：いきいきプラザ



1月19日（金）、毎年恒例の「成人を祝う会」を開催しました。今年は3名のメンバーが成人の仲間入りをしました。誕生してから大きな節目となる20年。その歩みを振り返ると、本人はもちろん、ご家族のみなさんは感慨深い思いでいっぱいだと思います。そのような記念すべき晴れの日をこだまのみなさんでお祝いできるのは幸せです。

今回の会をより思い出に残る感動的なものにしようと1ヶ月前から職員間で話し合いを重ねてきました。その甲斐もあって昨年同様に内容が充実したプログラムが完成しました。どれも素晴らしい企画でしたが、その中でも特に深く印象に残った企画があります。それは、「新成人からお母さんへの手紙」でした。もちろん、「お母さんからの手紙」企画も例年通り行い、この瞬間も感動のあまり涙する参加者が多くいましたが、それ以上に新成人からの手紙には、お母さんへの感謝の思いがたくさんたくさん詰まっています、心が揺さぶられるほど感動しました。

この手紙は毎日関わっている職員が、日頃の情景の中から本人の想いを汲み取って書いた手紙です。まるで本人が読んでいるかのようにお母さんへの感謝の思いが多くの参加者に伝わってきました。どの手紙も本人のお母さんに対する愛情がたくさんたくさん詰まった素敵な文章でした。

お忙しい時期にも関わらず、快く参加していただいた養護学校の先生、そしてお休みを取って一緒に参加していただいた保護者のみなさん、本当にありがとうございました。

新成人の石丸さん、廣川さん、引野さん、そしてご家族のみなさん、おめでとうございます。

【渡部健史】



みんなとても素敵でした。おめでとう！



成 人 お め で と う

新成人になられたみなさん、本当におめでとうございます。せいかつ3グループからは二人の方が新成人となりました。本当に誇らしい気持ちでいっぱいです。成人になられた方達は、当日はいつもよりずっとずっと凛々しく、大人の顔になっていました。こんな日に立ち会えたことは本当に幸せでした。

今年の企画に新成人からお母さんに、感謝の言葉を送ろう、がありました。感謝の言葉を一緒に考えさせていただいたとき、お母さんたちには内緒でしたが小さい頃からの写真を拝見させていただいて、その時々的情景が浮かんで思わず目頭が熱くなってきました。ご両親や家族の方の深い愛情をいっぱい受けて育てられたことが伝わりました。

当日は、お手紙に合わせて新成人なられた子供さんから花束の贈り物もあり、お母さんたちもとても喜んでいただきその姿に感激しました。本当にあたたかい、あたたかい会になったと喜んでいきます。お母さんたちからも新成人の方にお祝いの言葉がありましたが、印象に残ったのがお母さんみなさんが口にされた、「お母さんの子供で生まれてきてくれてありがとう」という言葉でした。日常の様子からもそのことは充分伝わってはきてましたが、また再確認できました。

私たちは利用者の支援に関わる者として、成人になられたみなさんにより一層自立に向けた取り組みをしていきたいと思っています。自分らしい大人になっていけるように応援していきたいです。

【せいかつ3職員】

乾燥野菜作りが始まりました

2017年度、せいかつ1では木工作業と空き缶作業に変わる新しい作業として、オリジナル薬草茶づくりにとりくんでいます。秋には「こだまクロモジ茶」が完成しました。そして第2弾として乾燥野菜・果物作りに取り組んでいます。



2017年度、せいかつ1では木工作業と空き缶作業に変わる新しい作業として、オリジナル薬草茶づくりにとりくんでいます。以前にも紹介しましたが、秋には「こだまクロモジ茶」が完成しました。初めはお茶パックに入れていましたが、おしゃれなテトラ型のティーパックも用意できました。まだまだ改良を重ねもっといい製品になるようにしていきたいと思っています。購入していただいた皆様から、「おいしいね」「飲みやすいね」といううれしい声もたくさん聞かせていただいています。これからは煮出し用、ティーバッグ用（いずれも10包500円）の販売を、より頑張っていこうと気合いを入れています。

そして寒い時期になり、新しい作業の準備が始まりました。食品乾燥機を2台導入して、乾燥野菜・果物づくりにとりくむことになりました。野菜でいえば大根・人参など、果物もりんご、バナナ、キューイなど乾物になると今はやりのドライフルーツとなって、栄養が濃縮され、いつもとは違ったおいしさを味わうことができます。

利用者の作業は、ピーラーを使って野菜や果物の皮をむいたり、包丁を使って薄く切ったり大胆に切ったりした後、専用のパレットに並べたりすることです。春からの黒文字ちゃの作業手順がそのまま生かして、作業もスムーズです。

これらの製品は様々な形や大きさのものを、数種類つくるとおもしろいかなと思っています。出来上がった乾燥野菜は色々取り混ぜて、忙しい主婦の皆さんにうれしい「そのまんま煮物セット」や「そのまんまおやつフルーツ」など計画をしています。果物はそのまま食べたり、

ヨーグルトに混ぜたりするのも、小さなお子さんが喜ぶかなとみんなで作業をしながらワクワクしています。かわいいラッピングもできましたので、販売開始までもうしばらくお待ちください。

【野津 拓馬】

クリスマスマーケットを開催しました

去年のクリスマスにカラコロ工房の地下で開催されていた催しに出掛けたとき、楽しい雰囲気の中で飲食ブースやクラフト市などたくさんの店があり、とても賑やかで楽しかったです。そのとき、来年はこだまでこんな企画をしたいねとの話で盛り上がりました。

今年もハロウインの行事が終わると、こだまは一気にクリスマスモードに変わります。クリスマスマーケットに向けて、「こうしよう、この方がいいんじゃない」など準備も楽しく進行了ました。マーケットゆえに、お店がたくさんないと感じがでません。

クラフトではおなじみの職員に加え、ぜひやってみたいと作品作りに挑戦する職員もいて、とても盛り上がりました。出来た製品を見せ合ってはもう少し「こうしたら」とか「この方が」みたいな話をして楽しく当日を迎えました。

飲食ブースもクリスマスにちなんだ温かい食べ物屋さんが並び雰囲気も上々です。コンサートにはアカペラグループ「ひとつの魔法」の方が参加してくれました。

さらに江指先生のファミリーコンサート、こだまのエース安達さんのクリスマスライブと盛りだくさんでした。今回はこだまの家族さん以外の参加者が多くおられました。実習に来られた方や学校の先生など多くの方に足を運んでもらえました。来年もさらにパワーアップしたクリスマスマーケットにしていきたいと思います。 【井川樹】



ポレポレの様子

今年度もあと2ヶ月余りになりました。時が経つのも早いものです。年度はじめに掲げた事業計画がどれだけ進捗しているかまとめの作業時期になりました。夏過ぎから月1回のペースでポレポレカフェも定期的を開催することができ、楽しい集いの場が提供できました。そしてたくさんの方に来ていただいていたいへん嬉しくおもいます。

12月に取り組んだクリスマス弁当は、本当にたくさん注文していただきました。たくさんのお客様に支えられていることを実感した日にもなりました。売り上げも大切ですが、ポレポレでは利用者さんの支援にも力を入れて来ました。お箸を上手に使うことができるようになった利用者さん、場面での言葉使いや、挨拶、食べる時の姿勢など毎日取り組むことによってすこしずつできるようになるのです。できた時の、この瞬間は職員も利用者さんも大喜びです。成功の鍵は利用者さんのやる気スイッチを見つけることです。そしてその方にあった支援方法で取り組むことです。それを見つけるのはたくさん利用者さんと過ごすことだとおもいます。

今年度もあと僅かですが、ポレポレー丸となって頑張ります。

応援よろしくをお願いします。

【橋本紳也】



せいかつ1の様子

生活介護メンバーにはすっかり定着しているクロモジ茶の作業。生活介護で活動するのははじめての私にはビックリの連続でした。朝礼(曜日によってはお笑いのネタのような)が終わると声掛けで皆さんトイレに行かれ、石鹸でしっかりと手を洗います。そして作業室に入るとそれぞれ自分の作業着に袖を通します。マスクを装着すると定位置に行かれ手の消毒を行います。そしてそれぞれの分担作業に取り掛かりますが、これがみなさん上手にされていてビックリしました。

また職員の誘導や声掛けのうまさや連携にもなるほど～！と勉強になっています。ここまでの流れを作るのは大変だったと思います。日々の積み重ね、ミーティングにより生まれた流れなのだと感じています。こうして毎日頑張っていて取り組んでいるクロモジ茶。森のハーブティと言われとってもいい香りがして美味しいです。便通が良くなったという声も聞かれました。まだ飲んだことがないよ～という方がおられましたらぜひ一度飲んでみて下さいね！【日野純子】



ほんそごの様子

冬のほんそごは、12月の行事をたくさん楽しみました。秋にみんなで集めた木の実でクリスマスのリースを作りました。クリスマスマーケットでたくさん販売することができました。残った木の実は、かんべの里の天狗の森で飾り炭を作りをしました。自然の中での焚き火がなんとも言えない安らぎを与えてくれました。担当の職員さんにもとても親切にいただき、出来た飾り炭は大切に飾っています。

一年間頑張っていて作業をしました。ボーナスで超豪華なオードブルを注文、皆さんお腹いっぱい食べました。皆さん中華は大好きです。そして、年越しそばです。そば打ちの先生の指導を受けて、今年は自分が食べる蕎麦は自分で打ちました。自分で打った蕎麦は最高に美味しい！！。そうして、2017年も美味しく終わって行きました。

年末は慌ただしくなりがちですが、大掃除もみんなで終え、新しい気持ちで2018年を迎えました。新年には、利用者さんの今年の抱負を書き初めで表してもらいました。

健康、マイペース、大福など、それぞれの思いを墨で豪快に書き展示しています。

そして、こだま名物。お正月恒例のお餅つきです。

「よいっしょ！！ よいっしょ！！」と杵を振り降ろしました。美味しいお餅ができて、みんなニコニコです。みんなで初詣にも行きました。今年も楽しくて幸せな、笑顔がいっぱいの一年にして行きます。今年もよろしく願いいたします。【伊藤和枝】



せいかつ3の様子

師走の慌たしさをみんなに感じてもらおうと、年の瀬で忙しい境港に行ってみることにしました。外はときどきミズレの降るあいにくの天気でしたが、境港に着く頃には日が差す時間もあって安心してお出かけを楽しむことができました。

この日出かけたのは、「大漁いちば中浦」です。平日だったので思ったほどの混雑もなく店内を歩ことができました。お目当は、カニです。みんなが作業を頑張ったおかげで冬のボーナスが支給されていました。そのお金で、みんなが一匹ずつカニを買って帰ることにしていたのです。水槽には沢山のカニが泳いで（歩いて）います。値段を見てみると一匹20,000円！みんながもらえたボーナスではとても買えません。最後の大きな水槽には、ちょうどみんなが買える値段のベニツワイガニがいました。店員のおばちゃんがカニを顔まで近づけてくれて、大きなハサミや甲羅にビックリでした。

一人一人箱に入れてもらって、家族へのお土産にしました。家族の方には内緒の企画でしたので、持って帰った家族の方からはとても喜んだとの声を寄せてもらいました。利用者の方から家族の方へのクリスマスプレゼントになりました。いつもびっくり企画が好きなせいかつ3ですが、これからも家族の方を楽しくびっくりさせられるような活動も考えていきたいと思います。 【山田 久】



ホームヘルプの現場から

移動支援を楽しみにしている自閉症の方がいます。毎月のお出掛けの行先や活動などの計画を利用者の方と一緒に組み立てていきます。今までは決まった所へ行くスケジュールを伝えて、目的地へ行っていました。移動支援を始めた頃は、汽車やバスに乗る事も一人では上手く出来ず、ヘルパーと一緒にいていた利用者の方が、慣れた場所までは一人で乗れるようになって来ました。また月日を重ねる事でヘルパーとも関係性ができ、自分から会話をされることが増えてきました。

そうした様子を見て家族の方からは、色々な経験をしてほしいと言われるようになりました。先日、「自分の様子を以前利用していた事業所の方に伝えたい、行ってみたい」と言われ家族の方とも相談して行ってみる事になりました。移動支援での経験を積み重ねる事で自信がついたようです。当日は、家を出るまで緊張されていたようです。目的地に着いても緊張はされてるようでしたが、久しぶりの場所に懐かしさを感じているようでした。対応された職員の方に自分の近況や仲間の話などおよそ一時間かけて伝えていました。話の始めに見られた緊張も徐々に和らいで、笑顔で会話を楽しまれているように見えました。話を聞いていた職員の方も出来る事が増えている成長ぶりに驚きを隠せない様子で、たくさん褒めていただきました。

話を終えて帰り道につく頃には、自分の気持ちを伝えた達成感で自信に満ちた表情をされていました。利用者の方の「やりたいこと」をかなえる場面に立ち会い、貴重な時間を共有することができました。これからも利用者の方に、自信をつけてもらえるような体験や経験を支援できるヘルパーでいたいと思います。 【曳野美津代】

伊藤看護師の健康講座

インフルエンザさん・さようなら



寒くなると空気が乾燥して、ウイルスの大好きな季節になります。

ウイルスは単独では生きていくことができないので、身体の中に入り込み増殖します。そして、感染した人を弱らせて行きます。嫌ですね。しかも、感染していても、症状が出ていない人もあるので厄介です。感染したら、ピカッと光ってくれたら良いのですが、そうはいきません。やっぱり予防が一番です。

ウイルスは水が嫌いなので、手洗い、うがい、飲茶、加湿など水で予防します。空気中に浮遊するウイルスは、換気を頻回にしたり加湿したりして、さようならです。そして、体の中に入る前に手洗いで流してしまいます。口の中に入ったとしても気管の中に入るまでに、うがいやお茶を飲むことで死滅させてしまいましょう。また弱った体は大好きです。睡眠や食事にも気をつけて。自分が感染しないということは、他の人にも感染しないということです。

自分だけの問題ではありませんので、一人一人が気をつけて、ウイルスとさようならしましょう。

【伊藤和枝】

★カフェ・こだまを準備中です

松江の乃木方面から大東に向かって車を走らせると大正時代に作られた石作りの千本ダムに差し掛かります。もう少し行くとバス停横に小さな喫茶店がありましたが、ご存知でしょうか？ しばらく閉店してましたが、今回縁あってこだまで借りることができました。12月から改装に取り掛かりかかっています。白と黒を基調にしたモダンな内装になっています。

こだまの生活介護では月一回、こだまカフェを開いてきました。回を重ねるたびに利用者の方のできる力が変わってきます。そんな力を発揮できたらいいなと、今回の準備に繋がりました。私たちもどんなカフェになって行くか楽しみにしています。きっとこの場所から新たな情報発信ができて行くのではないかとワクワクしています。

誰にも愛されるカフェになるように、内容についてもアイデアを出し合っていきたいと思っています。店内は、ダムに向かって座れるカウンター席や子供づれでも安心して利用できる畳の席もあります。桜の季節には、ダム周辺に咲く満開の桜が楽しめます。こだまを利用してくださる皆さんのカフェです。開店前には、お知らせしますのでお立ち寄りください。

